

啄木は今も ふるさと盛岡とともに

『もりおか』 その文字は
この地を訪れる人々を見守り
温かく迎える



盛岡の玄関口・盛岡駅。

駅を降り立つとすぐにある『滝の広場』は、観光客や市民の憩いの場。年間を通じて様々なイベントも行われています。

その一角には、石川啄木の自筆による歌碑。

『ふるさとの山に向ひて』

言ふことなし

ふるさとの山はありがたきかな

これは、啄木が在京当時にふるさとを想い詠んだもので、歌碑はふるさとの山である岩手山に向かって設置されています。

そして、この歌碑の前から駅舎をみると

『もりおか』の文字。

これは、啄木の自筆のメモや詩集の中から文字を拾い上げて作られたもの。

石川啄木の文字は、『我がふるさともりおかへ、ようこそ』と語りかけているようです。

